

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

AI時代に必要な「組織再設計能力」 柳川範之（東京大学大学院教授）

1. 生成AI（人工知能）の進展が著しい。現状でいえば、1人の人間の仕事を完全に代替するのは難しいにしても、その人の仕事の何割かを肩代わりしてくれる。あるいは同じ時間で何人分もの仕事ができるようになるという形で、人間の仕事を補完する役割が期待されている。
2. したがって、生成AIの機能を組織内で十分に生かし、生産性を高める形で導入しようとするならば、組織の再設計・再編が必要となる。そして、それは簡単にできることではないため、組織再設計能力を持った人材をしっかりと育成していく必要がある。
3. 組織再設計能力を発揮するためにまず必要なのは、現状の組織内で、各人がどのような役割を担い、どのような責任を持っているのかを正確に把握できることである。現状がどうなっているのかがわからなければ、変化させる方向性も決まらないからだ。そのうえで、AIが担うことができるのはどの部分かを把握・分析する能力、さらには縦割りの構造を変えて、横割りで組織を考え直す能力も必要になるだろう。

（参考：「週刊東洋経済」2025年3月29日号）

経営者のための理念・哲学

不思議に手を合わせる 横田南嶺（臨済宗円覚寺派管長）

1. 坂村真民先生の『全詩集』第七巻に「不思議抄」という詩がある。「神さま仏さまを祭るのが信仰ではない 本当の信仰とは目に見えないものの不思議を知り 素直な心になり すべてに愛を持つことだ」という一節もある。「目に見えないものの不思議」とはいったい何であろうか。
2. たとえば一本の木が大地に立っているとす。目に見えるのは、幹であり枝であり、茂った葉であり、またきれいに咲いた花であろう。しかし、木は土の上に幹があり枝葉が茂っているのではない。それを支えている根がある。根は目には見えない。しかし、目に見えない根がないと、木は立ってられない。
3. 私たちを支えているのは何であろうか。両親の愛が無ければ、命を授かりはしなかった。そう考えてみると、目に見えない不思議が幾重にも幾重にも重なって、今ここに私は生かされていることに気がつく。私だけではない。あらゆる命は不思議なご縁で生かされている。そう気がつけば自ずと手が合わさり、命を大切にす慈愛の心も湧いてくるのである。不思議の世界を大切にしたいものである。（参考：「致知」2025年6月号）

人事労務について

「初任給30万円」時代の企業の狙いと学生の変化

1. 今春から大卒初任給を30万円以上に引き上げる企業が相次いでいる。今、産業界が初任給アップに走る要因の一つは、人手不足で人材獲得競争が激しさを増し続けていること。2つ目の要因は、学生側の意識の変化だ。学生に「初任給の額が求人への応募に影響するか」の質問に、「非常に影響する」の比率が24年卒で24.1%、25年卒は27%、26年卒では32.3%へ急上昇している。その理由は、「近年の物価高や将来への不安」がある。3つ目には、年功序列など従来型の賃金・人事制度を抜本的に見直し、人材確保だけでなく社員の生産性を引き上げる動きがある。
2. 26年4月の新入社員（現総合職）から、初任給を4万5000円引き上げて30万円にする三井住友銀行もその一つ。銀行業界は長年、年功序列型賃金の色合いが濃く、同社も同様だった。これを26年1月から抜本的に見直すことで、働きがいや個人のスキルを高め、新卒や中途採用応募者への魅力を増す。

（参考：「日経ビジネス」2025年3月17日号）

古典に学ぶ

困難に立ち向かうプロセスは、人を磨き成長させる

1. 苦境を切り抜ける最善策を見つけるには、そのようにどっしりと構え、状況を見据えることが大切です。すると、それまでは自分でも知らなかった能力を発揮でき、思わぬ力が出るからです。
2. そうすれば、必ずなんらかの対処法が見えてくるのです。困難に立ち向かっていくプロセスは、人を磨き、成長させます。目の前の問題が、自分を成長させるということを心に留めておきましょう。

（参考：名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」：河出書房新社）